

九州建設協会
若手交流会

最優秀に松下さん(日本) 技術者12人が成果発表



建設コンサルタツ協会九州支部(村島正康支部長)は25日、福岡市の八重洲博多ビルで、2016年度若手技術者交流会を開いた。写真。20、30代の若手技術者の12人が日ごろの成果や目指す技術者像などを発表した。交流会には学生を含め約120人が参加した。

冒頭、あいさつした村島支

部長は、熊本地震に触れ「社会資本整備は災害から国民の生命、財産を守る上で必要不可欠であり、社会的な要請でもある。しかし、現状は事業費の抑制や少子高齢化により、厳しい環境にある。若手技術者はこの現状を受け止め、建設業界の将来を背負って立つという気概を持ち日々の業務に励んでほしい」と述べた。

また、参加した学生に対して「発表を聞き、働きがいがある建設業という職種を選択してほしい」と呼び掛けた。発表会は、若手技術者12人

が質疑応答を含め1人18分の持ち時間で発表し、最優秀賞に松下朋哉さん(日本工営福岡支店)の「MMS計測を活用した堤防管理」、優秀賞には原田あゆ子さん(応用地質九州支店)の「調整池内遺跡の保存状況確認のためのモニタリング」、片山花さん(第一復建)の「熊本震災業務を経験して」が選ばれた。この後、懇親会を開き、親睦を深めた。

このほかの発表テーマと発表者は次のとおり(敬称略)。
▽九州大学統合移転に伴うバス運行計画の検討(辻裕之(パシフィックコンサルタツ九州支店))
▽希少猛禽類に対する工事配慮(安木進也(長大福岡支店))
▽河川堤防の浸透に対する安全性照査(本郷伸(西日本技術開発))
▽都心部での交通業務(助廣大(福山コンサルタツ))
▽高齢者事故に対応した交通事故対策の評価(大崎頌太(建設技術研究所九州支店))
▽高速道路の整備効果把握に関する手法検討(宮木佑輔(八千代

エンジニアリング九州支店)▽平成26年度道の駅活性化検討業務(瀬畑尚紘(大日本コンサルタツ九州支店))
▽i-Constructionで何が変わる?(仲摩勇輝(九州建設コンサルタツ))
▽利用者にわかりやすい案内標識等の検討業務(仲摩純吾(オリエンタルコンサルタツ九州支店))

